

# R4-R8の東牟婁地域等の減災に係る 取組方針(第2期)の取組事例

取組内容

- (1)洪水に対する意識の啓発及び普及 ①情報伝達、避難計画等に関する事項
- 想定される浸水リスクの周知について
  - 洪水予報・水位周知河川以外の想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表
- 中小河川の洪水浸水想定区域図の作成・公表

和歌山県

取組概要

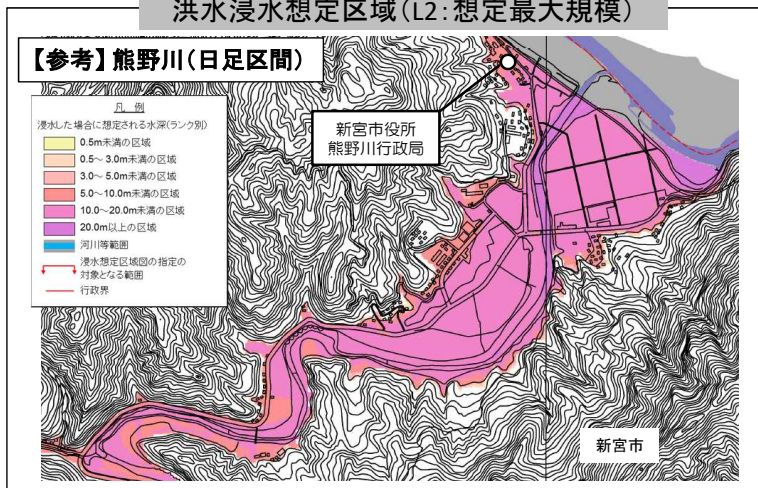
○これまで把握されていなかった、洪水予報河川及び水位周知河川区間を除く県管理河川における水害リスク情報を明らかにすることで、住民の適切な避難行動を確保する。(令和3年水防法改正)

<和歌山県管理の指定河川>

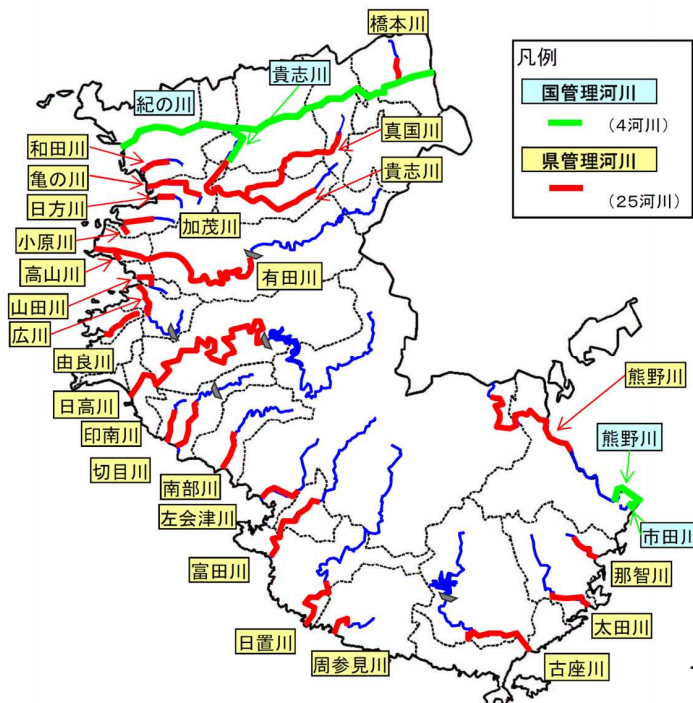
	洪水予報河川	水位周知河川	その他河川		計
			公表済	未公表	
一級河川	1	3	1	128	133
二級河川	3	14	3	297	317
計	4	17	4	425	450

現行の公表済み 25河川 令和6年3月予定

洪水浸水想定区域(L2:想定最大規模)



<洪水浸水想定区域図公表済み河川>





(3)迅速・的確な行動の備え ①情報伝達、避難事項に関する事項  
■住民等への情報伝達体制や方法について  
・ウェブサイト、テレビで洪水予報、河川水位、カメラ映像、気象情報を提供

取組内容

●県ホームページで、河川の水位、カメラ映像を提供

### ホームページの改修

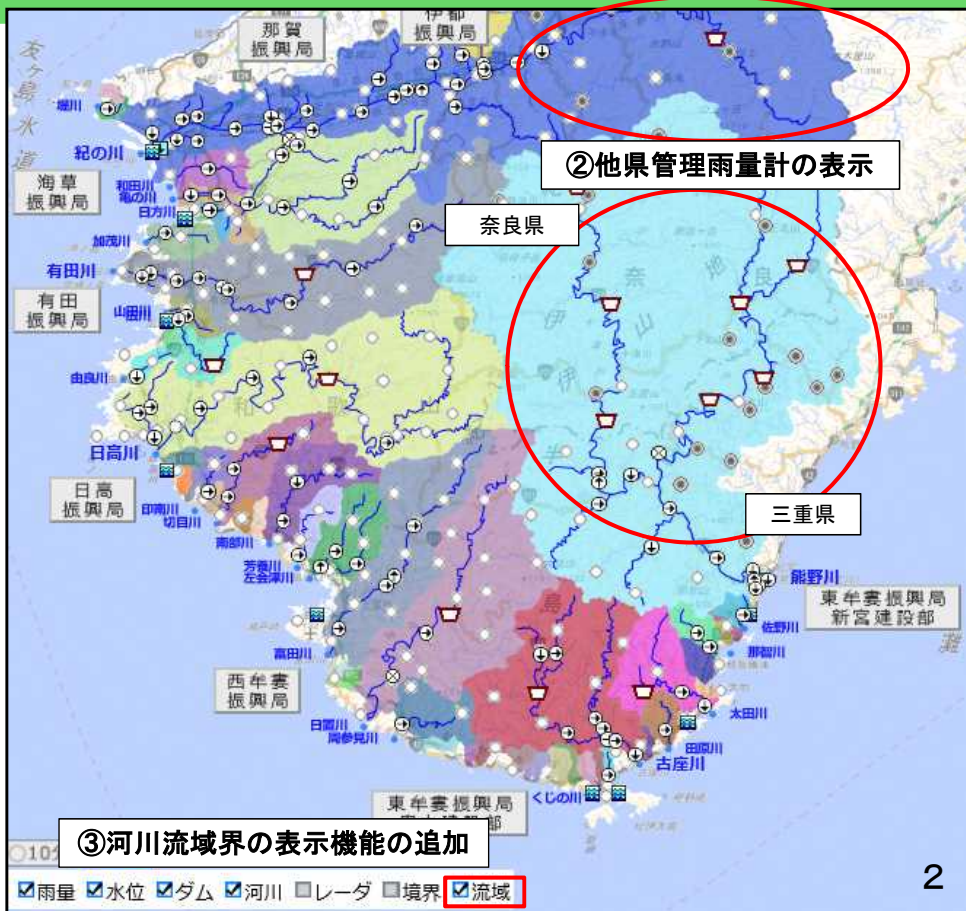
#### 【改修内容】

- ①河川監視カメラ及び水位計の増設  
河川監視カメラ 112箇所 (R5:5箇所増設予定)  
水位計 102箇所 (R5:2箇所増設予定)
- ②他県管理雨量計の表示  
紀の川の上流域  
(奈良県:20箇所)  
熊野川及び北山川の上流域  
(奈良県:12箇所、三重県:9箇所)
- ③河川流域図の表示機能の追加
- ④国土交通省 河川監視カメラ映像の表示 (R3年4月～)
- ⑤和歌山県 河川監視カメラ映像の表示 (YouTube配信) (R4年10月～)

#### ⑤和歌山県 河川監視カメラ映像の表示 (YouTube配信)



日足水位観測所 (熊野川)  
和歌山県 東牟婁振興局新宮建設部管内



①情報伝達、避難計画等に関する事項  
■住民等への情報伝達体制や方法について  
・ウェブサイト、テレビで洪水予報、河川水位、カメラ映像、気象情報を提供

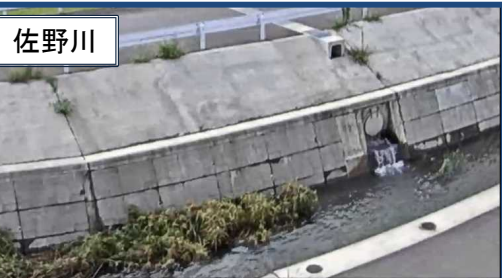
取組内容

●避難体制の強化 河川監視カメラ映像配信(設置個所の増設検討)

取組概要

令和2年度に一般公開用河川監視カメラ1台設置し、令和3年9月より、住民向け映像配信を開始

映像の公開により、河川の状況を把握し、住民の早期避難に結びつくことを期待し、啓発している。⇒ 増設検討



令和5年以降、住民避難への効果等や佐野川の河川改修を踏まえ、佐野川と支流の荒木川について、追加で必要箇所を検討し、増設していく予定。(令和3・4年度ともに避難情報発令実績無し)



取組概要

○ 周参見川はん濫(L2)に備えた避難所の整備(R4)

- ・ 防地避難所 鉄骨2F建 248.5m<sup>2</sup> 非常用電源整備
- ・ 建設地盤高: 1.3m 嵩上(津波・洪水浸水対策)
- ・ 嵩上前災害リスク: L2洪水浸水想定0.5m ・L2津波浸水想定0.3m



取組概要

那智勝浦町大雨台風接近に伴う防災行動計画(タイムライン)

令和5年4月

	◇総括 総務課 防災対策室	◇情報提供 総務課・観光企画課	◇避難所 総務課・住民課・税務課 福祉課・こども未来課 教育委員会	◇道路管理 建設課・農林水産課	◇被害調査 建設課・農林水産課 水産課・教育委員会
台風上陸の可能性 想定日時(上陸等の) 3日前 台風予報・ 気象台情報	○配備体制の検討 各課に早期注意情報の共有 関係機関と情報共有	○メディア対応 ホームページ更新	○避難所の開設準備 職員派遣を調整	○所管施設等へ連絡 土のう等の確認	○調査準備 調査用具の確認 調査体制の調整
災害発生の可能性 1日前 ■警戒レベル3	◇大雨・暴風警報等 ◇高齢者等避難発令 防災行政無線放送 県防災情報システム ホテル等に避難所開設の連絡	○情報収集、発表 道路通行止め 公共交通機関等 フェイスブック、ツイッター等による情報配信	○避難所開設 開設時間を調整 要配慮者の対応	○道路冠水等確認 道路通行止め	
台風接近 半日前 ■警戒レベル4	◇土砂災害警戒情報 ◇氾濫危険情報等 ◇避難指示発令 気象台に状況確認 消防、警察等と情報共有		○避難完了 避難状況の報告 交代委員の調整	○道路冠水等への対応 バリケード、土のう等の設置 道路通行止め対応	○被害状況の把握 被害状況の報告
台風上陸	◇氾濫発生情報等 気象台に状況確認		○避難状況の把握 避難状況の報告	○被害状況の把握 被害状況の報告	
警報解除 半日~1日後	○被害調査まとめ 防災行政無線放送 県防災情報システム				○所管施設等の被害調査報告 ※被害により住家被害調査実施

台風の接近により河川水位の上昇が見込まれる場合等における、関係各課の業務内容や避難情報発令のタイミングの目安となるタイムラインを、令和5年4月に策定。  
・機構改革に伴い、各課の役割の見直し及び明確化を行った。

(2)避難時間の確保 ②水防に関する事項

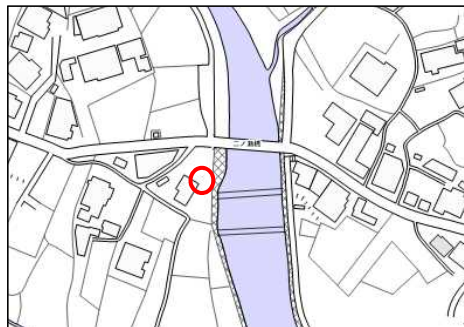
- 水防体制について
- ・水防資機材の整備

取組内容

● 那智川河川監視カメラシステムの再整備

取組概要

二ノ瀬橋



市野々小学校



源道橋



紀伊半島大水害を契機に整備した那智川河川監視カメラについて、機能向上のため再整備を実施。那智川流域3か所に設置されている河川監視カメラ及び周辺機器の更改に加え、新たにLTEルータ搭載クラウド型カメラ及び赤外線投光器を設置。



- ・監視映像をインターネット経由でリアルタイムで端末に表示。
- ・クラウド内ストレージに1週間録画保存可能。
- ・夜間の視認性の大幅な向上。



←昼の映像



夜の映像→

(3)迅速・適格な行動の備え

- ①情報伝達、避難計画等に関する事項
- 避難誘導體制について

取組内容

● 避難行動要支援者の個別計画作成の促進

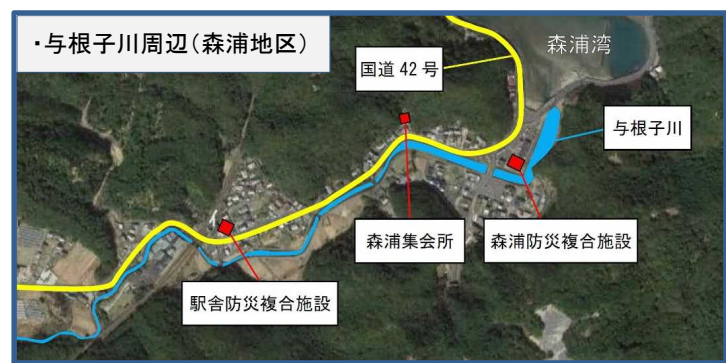
取組概要

○ 取組に対する町の考え方

本協議会の目的である河川流域の大規模氾濫を前提とした洪水への備え「水防災意識社会」再構築を踏まえ、河川流域の防災力の強化に努める。さらに、各種取組の推進から全町の防災力の強化につなげていくとともに、住民自ら防災力の強化に取り組む環境を醸成する。

○ 町内の河川の状況

森浦地区には、与根子川が国道42号に沿うように流れており、周辺に集落が形成されている。近年、大規模な氾濫は発生していないが、台風や豪雨時、満潮時間と重なる場合、高水位となるため監視体制を強化している。



○ 取組詳細

◆ 避難誘導體制について

- ・避難行動要支援者の個別計画作成の推進
- ・避難行動要支援者の参加する避難訓練の実施

当町の高齢化率は、令和5年12月時点で45.3%となっており、中には迅速な避難が難しい要支援者も相当数存在する。この状況を解消するため、要支援者の把握に努めるとともに、福祉部門との連携を図り、個別計画作成を推進する。

森浦地区は、川沿いを中心に集落が形成されており、水害のリスクが高いため、迅速な避難が行えるように率先して進める。また、地区で行う避難訓練に要支援者も参加するよう努めていく。

【R4.10.1時点：森浦地区の住民 146世帯 232人】

【災害時要援護者登録制度の活用】

福祉に係る事業を実施する中で、ケアマネジャーや看護師、地域包括支援センター職員等が家庭を訪問する際に、「太地町災害時要援護者登録申請書」を持参、目的を説明した上で同意を得られた人の登録を行う。すでに登録されている人は、記載内容の確認を行う。

※災害時要援護者 → 避難行動要支援者



## 情報伝達、避難計画等に関する事項

## ■IoTを活用した河川氾濫に対する危機対応力の強化について

・冠水センサ設置により河川の危険水位の切迫状況を把握し、災害対応フローの一助とする。

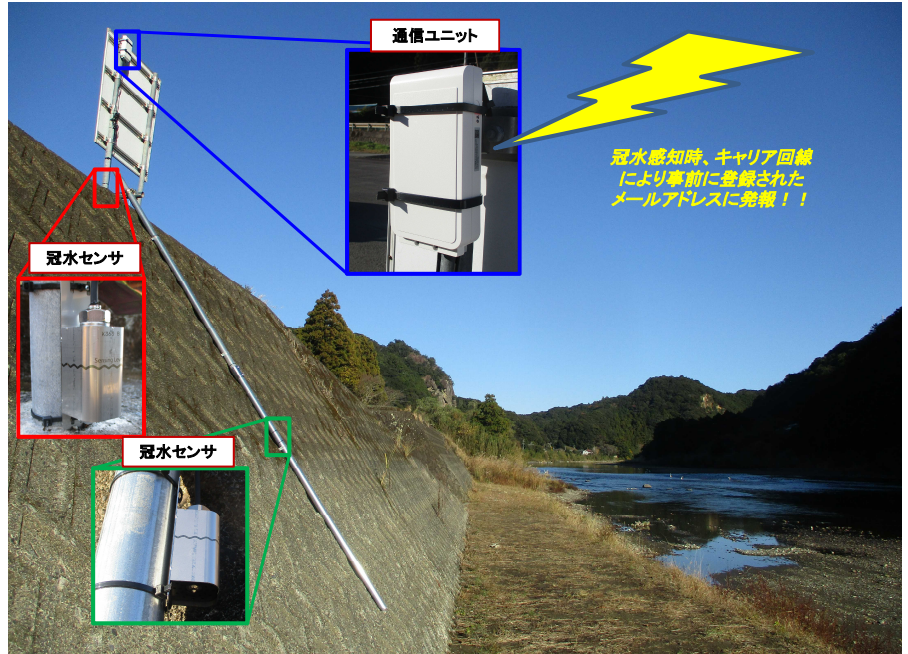
## 取組内容

## ●古座川河口付近の河川増水時の危険判断箇所に冠水センサを設置。(試験的運用、今後、増設を検討。)

## 取組概要

古座川町では、河川増水時における河川水位状況を常時監視し、災害対策時の情報収集におけるアプローチのひとつとして、古座川河口付近の危険水位判断箇所に“冠水センサ”を設置し危機対応力の強化を図った。

今回設置した“冠水センサ”は、河川増水時に町内で一番最初に冠水する月野瀬公衆トイレ駐車場の敷地内に高低差を付けた2カ所(冠水前・冠水後)に設置を行った。センサが冠水すると事前に登録している職員メールアドレスにセンサの浸水感知情報が発報される仕組みとなっている。



8

## (1)洪水に関する意識の啓発及び普及 ①情報伝達、避難計画に関する事項

## ■防災に関する啓発活動について

・避難対策ワークショップの実施 他

## 取組内容

## ●避難所・避難所用物資設営訓練

## 取組概要

### 「【内閣府・串本町役場共催】堀笠嶋区 協力 令和5年度 地震・津波防災訓練、ワークショップ」

- ・実施日 令和5年11月19日(日)
- ・場 所 串本古座高等学校体育館
- ・参加者 50人
- ・内 容
  - ・大津波警報が発表された旨の町内放送によるシェイクアウト訓練及び避難訓練
  - ・簡易トイレ、段ボールベッド、トイレ用テント等の設営
  - ・兵庫県立大学 澤田准教授による防災講座「災害にも対応できる自分と地域の体力づくり」
  - ・アルファ米の試食
  - ・介護予防体操「ころころ体操」
  - ・内閣府による南海トラフ臨時情報に関する紹介

### 「大島島内避難訓練・防災学習会」

- ・実施日 令和5年12月16日(土)
- ・場 所 串本町立大島小学校
- ・参加者 120人
- ・内 容
  - ・大津波警報が発表された旨の町内放送によるシェイクアウト訓練及び避難訓練
  - ・簡易トイレ、段ボールベッド、間仕切り等の設営

その他、学校や福祉施設への防災出前講座や地区単位の避難所設営訓練・ワークショップなども実施



9